

(書式 3 - 2 - 2)

離婚を求める訴えの答弁書

平成〇〇年 () 第〇〇〇〇号

離婚請求事件

原告 ○ ○ ○ ○

被告 ○ ○ ○ ○



第1 請求の趣旨に対する答弁

- 1 原告の請求をいずれも棄却する。
- 2 訴訟費用は原告の負担とする。

との判決を求める。

第2 請求の原因に対する答弁

- 1 第1項は認める。
- 2 第2項は否認する。
- 3 第3項は認める。
- 4 第4項は争う。

- 5 第5項は争う。

第3 被告の主張

離婚原因の不存在

解説

1 請求の原因に対する答弁

訴状「請求の原因」の内容に即して項目又は文章ごとに「認める。」「否認する。」「不知。」等の結論とその理由を簡潔に記載する。

但し、理由は「被告の主張」欄に記載してもよい。

なお、法律上の主張に対しては「認める。」又は「争う。」と記載する。

2 被告の主張

離婚原因が存在しないことを示す具体的事実を記載する。例えば、原告が、被告の不貞であるとして主張する事実が、原告の誤認であること又は、不貞行為に及んでいないこと等。



Asahi Chuo